

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

|      | 単位 | 2020/12/31 | 2021/1/29 | 2021/2/19 | 過去3年高値    |           | 過去3年安値    |           |
|------|----|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|      |    | (前年末)      | (前月末)     | (前週末)     | 水準        | 日付        | 水準        | 日付        |
| 日経平均 | 円  | 27,444.17  | 27,663.39 | 30,017.92 | 30,714.52 | 2021/2/16 | 16,358.19 | 2020/3/19 |
| NYダウ | ドル | 30,606.48  | 29,982.62 | 31,494.32 | 31,647.53 | 2021/2/19 | 18,213.65 | 2020/3/23 |
| 円/ドル | 円  | 103.25     | 104.68    | 105.45    | 114.55    | 2018/10/4 | 101.19    | 2020/3/9  |

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～経済活動正常化への期待や予想を上回る景気の回復状況などから上昇するも、利益確定売りの動きから、ほぼ横ばい～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+497.85円(+1.69%)、TOPIXが▲4.93ポイント(▲0.25%)となり、経済活動正常化への期待や予想を上回る景気の回復状況などから上昇するも、利益確定売りの動きから、TOPIXベースでほぼ横ばいとなりました。業種別(東証33業種)で見ると、海運業、鉱業、精密機器などの15業種が上昇した一方、ゴム製品、輸送用機器、金属製品などの18業種が下落しました。

週前半は、米追加経済対策の早期成立への期待が高まる中、①14日に厚生労働省が承認した米製薬大手ファイザーの新型コロナウイルスワクチンの接種が、17日にも国内医療従事者を対象に開始される見通しであったことや、新規感染者数の減少傾向が続いていることを受け、経済活動の正常化が進むとの見方が広まったこと、②先々週までに一巡した国内の10-12月期決算発表において、市場が想定した以上に力強い企業業績の回復が確認されたこと、③内閣府が15日朝に発表した10-12月期GDPが市場予想を上回ったことなどから、日経平均主導で大きく上昇しました。しかし週後半は、株価急騰を受けた高値警戒感や米国金利の上昇による相対的な魅力度の低下から利益確定売りの動きが優勢となり下落し、先週末比ではTOPIXベースでほぼ横ばいとなりました。

3. 今週の主な予定

| 日程    | 曜日  | 国・地域 | 項目                                    | 期間 | 前回    |
|-------|-----|------|---------------------------------------|----|-------|
| 2月22日 | Mon | ドイツ  | IFO企業景況感指数                            | 2月 | 90.1  |
|       |     | 米国   | 農畜先行指標総合指数                            | 1月 | +0.3% |
| 2月23日 | Tue | 米国   | パウエルFRB議長、議会証言(23日:上院、24日:下院)         |    |       |
|       |     | 米国   | 消費者信頼感指数                              | 2月 | 89.3  |
| 2月24日 | Wed | 米国   | 新築住宅販売件数                              | 1月 | 842千件 |
| 2月25日 | Thu | 欧州   | EU(欧州連合)首脳会議(オンライン、26日まで)             |    |       |
|       |     | 米国   | 耐久財受注(前月比)                            | 1月 | +0.5% |
| 2月26日 | Fri | 国際   | G20(20カ国・地域)財務相・中央銀行総裁会議(ビデオ形式、27日まで) |    |       |
|       |     | 日本   | 鉱工業生産(前月比)                            | 1月 | ▲1.0% |

|          |    |        |  |
|----------|----|--------|--|
| 決算発表予定 他 | 海外 | 決算発表 : | 2/23 HSBCホールディングス 2/24 エスビディア、バイコムCBS、ロイズ・バンキング・グループ、グループPSA 2/25 テル、ドアダッシュ、エアビーアンドビー、HP、セールスフォース・ドットコム、ウェアレ、アクサ、ハイエル、スタンダード・チャータード 2/26 ハスフ |
|----------|----|--------|--|

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～利益確定売りが出やすい一方、景気や企業業績の改善期待は強く、高値圏で揉み合う展開～

今週の日本株市場は、利益確定売りが出やすい一方、景気や企業業績の改善期待は強く、高値圏で揉み合う展開を予想します。年明け以降急ピッチで株価上昇してきた中で、①市場予想を上回った10-12月期決算は概ね織り込まれたこと、②日経平均が節目の3万円を上回り達成感があること、③国内金融機関の本決算である3月末が近づいていることなどから、当面利益確定売りの出やすい状況が続くとみえています。また、米国中心に各国の長期金利が上昇していることも、株価の重しに働くと考えられます。一方、新型コロナウイルスの普及や各国の大規模な経済対策が見込まれる中、景気や企業業績の先行き改善期待は強く、押し目での買い意欲は強いとみえています。また、23日のパウエルFRB議長の議会証言において、これまで同様に緩和的な金融政策を長期間維持する姿勢が示されると思われ、過度な金利上昇懸念は後退するとみえています。これらから追加経済対策協議の進展度合いをにらみながら、高値圏で揉み合う展開を予想しています。

その他の注目材料として、日本では26日の鉱工業生産、米国では23日の消費者信頼感指数、24日の新築住宅販売件数、ドイツでは22日のIFO企業景況感指数などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.  
URL: <http://www.alamco.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会